

残そうよ 次のせだいに 光る川

クリーンアップ九頭竜川 市民意識向上事業 標語入賞作品から

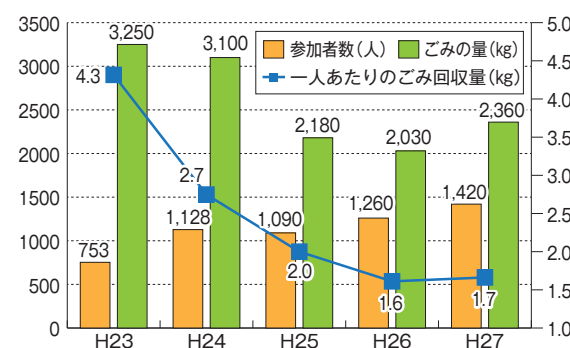


九頭竜川清掃に多くの市民が参加

5月17日に、公益社団法人勝山青年会議所主催のクリーンアップ九頭竜川2015が、九頭竜川の7か所の会場で開催され、団体・個人あわせて過去最高の1420人の方が参加しました。
この事業は平成17年度から始まり、今年で11回目を数える環境美化活動のビッグイベントのひとつです。
ごみ回収量は2360kgで、昨年より増加しましたが、ひとりあたりの回収量は減少傾向にあり、九頭竜川のごみが少しずつ減っていることが伺えます。(グラフ参照)



回収されたごみの一部



参加者数・ごみ回収量の推移



廃棄されていたテレビなど

しかし、テレビなどの電化製品が廃棄されるなど、まだまだ大人の環境に対する意識は低いと言えます。こうした啓発活動はこれからも継続していく必要があります。

ごみ減量化大作戦

～二酸化炭素の排出削減にも努めよう～

食品ロスをなくそう

家庭から出る燃やせるごみの約半分が生ごみで、そのうち4分の1が食べ残しなど、本来食べられる「食品ロス」です。

福井県では、家庭や外食時に福井の食材をおいしく食べきり、食べ残しの減量化を進める「おいしいふくい食べきり運動」に取り組んでいます。食品ロスを減らしてごみの減量化に努めましょう。

- 食品ロス減量のポイント
- ・買い物前には 冷蔵庫の中を確認
- ・量り売りやバラ売りの利用



賞味期限の表示



ぎゅっとひと搾り



コンポスト

- ・食べきれないと思ったら「小盛で」
- 「〇〇は入れないで」
- ・週一回「冷蔵庫一掃デー」
- 消費期限が近い食材を使い切る日を設定

賞味期限と消費期限の違い

賞味期限
おいしく食べられる期限。賞味期限を過ぎても、すぐに食べられなくなるわけはありません

消費期限
この期限を過ぎたら食べないほうがいいという期限

生ごみの水切り

生ごみの約8割を占める水分を減らすことで、ごみの量もぐんと減ります。

三角コーナーや排水口にたまった生ごみは水切りして、ごみ袋に入れる前には、最後にもうひと絞りするよう心がけてください。また、天日にさらしたり新聞に包んで乾燥させたりすることも有効です。

また勝山市では、「生ごみ処理機」や「生ごみ処理堆肥化容器(コンポスト)」の購入に対し、補助金を交付しています。

環境政策課(市役所2階)
☎ 88・8104



市内3中学校の活動の様子

川だけでなく身の回りに、ごみが散乱しています。一人ひとりがごみを出さないよう日頃の心がけが必要です。勝山の環境をさらに良くしていくよう行動をしましょう。



清掃の様子と回収されたごみ

北郷町まちづくり協議会も清掃活動

クリーンアップ九頭竜川に合わせてメンバー26人が北郷町内にある畷見川の清掃活動を行いました。

今回の清掃で310kgのごみを回収しました。ごみの大半は駆除した外来種のコカナダモなのですが、ビニール袋、缶コーヒー、ドリンク剤のビンなどがたくさん回収されました。